

内容項目名	節度、節制（内容項目A－（2））		
資料名	「電車内のマナーについて知ろう」（出典「自作映像資料」）		
学校名	千葉県立八千代特別支援学校	指導者	松尾 裕史 他1名

1 学習指導案

特別支援学校 中学部1年Aグループ 道徳学習指導案

平成29年11月1日（水）6校時

（1）主題名

電車内のマナーについて知ろう

（2）ねらい

車内のイラストを見て、良いマナーや悪いマナーに気づいたり、シミュレーションから車内のマナーを知ったりすることでマナーについて関心を持つことができる。また、今までの内容を振り返り、マナーカードを作ることで校外学習当日の電車内のマナーについて意識することができる。

（3）主題設定の理由

本題材では、道徳の年間計画の11月のテーマである「ルールやマナーを守って楽しく過ごそう」の中学校学習指導要領道徳第3章第2内容項目にある節度・節制、規則の尊重をねらいとして行っていく。

11月下旬に予定している電車を利用した買い物学習に向けて、普段利用することの少ない電車内のマナーについて学習する。導入では、電車の写真や映像などを用いて、電車内についてのイメージを持つようにする。次に、マナーの悪い人や席を譲っている人などの車内のイラストを提示する。マナーが悪い人のイラストは、三つのマナー（①小さい声で話す②歩く③手すりにつかまる）に焦点を当てたものを用意した。イラストを見てマナーの良い人、悪い人を比べ、自分だったらどうするという選択と自己決定ができるのではないかと考えている。その後、イラストの一つに焦点を当て教師と生徒がシミュレーションを行い、演じた生徒と見ていた生徒がそれぞれ感想を発表する。そして、適切な三つのマナーについて教師が手本を示し、全員が適切なマナーについて体験する。全員が三つのマナーを体験したり、身近に感じたりすることで、マナーを守り他の利用者を思いやる気持ちを育てる時間にしたい。最後に、今日学んだことをマナーカードにして、当日のしおりに挟むことで電車に乗るときに振り返ることができるようにする。

本単元をとおして、電車に乗る上でのマナーについて知り、きまりを守ることの大切さに関心を持ち、自分から進んで行動するようになってほしい。また、きまりを守ることが思いやりにつながるきっかけになることを願っている。

（4）展開

過程	学習活動と主な発問	予想される反応	教師の支援
導入 (10)	○11月下旬の校外学習について知る。 【発問①】 ○「電車に乗ったことがある人？」と質問をする。	・乗ったことある。 ・電車好き。	・「誰と乗ったのか。」や「どこに行ったのか。」など具体的な場面を答えられるように質問

	<p>○電車の写真や車内の様子を撮影した映像を観る。</p>	<p>・乗ったことない。</p>	<p>する。</p> <p>・イメージが持てるように東葉高速線などの身近な電車の写真を用意する。</p>
<p>展開 (35)</p>	<p>○ストーリーを見る。</p> <p>良いマナー</p> <p>①席を譲っている様子</p> <p>悪いマナー</p> <p>①大声で話している様子</p> <p>②走る様子</p> <p>③手すりを持たず、人や物にぶつかる様子</p> <p>○手を挙げて、その場で発表する。</p> <p>【発問②】</p> <p>「(一つ一つの場面に対して) この場面では、みんなならどうしますか？」</p> <p>○シミュレーションをする。</p> <p>・教師のマナーが悪い人を代表の生徒が隣で体験する。</p> <p>・それ以外の生徒は見学する。</p> <p>①大声で話している様子</p> <p>・一人一人感想を発表する。</p> <p>②走る様子</p> <p>・一人一人感想を発表する。</p> <p>③手すりを持たず、人や物にぶつかる様子</p> <p>【発問③】</p> <p>「体験して、どう思いましたか？」</p> <p>○適切なマナーを体験する。</p> <p>①大声で話さず、小声で話す</p> <p>②走らないで歩く</p> <p>③手すりにつかまる</p> <p>○マナーカードを作る。</p> <p>・マナーカードのプリントに書いたり、表情シールを貼ったりする。</p>	<p>・小さい声で話す。</p> <p>・走るとあぶない。</p> <p>・倒れるからあぶない。</p> <p>・わからない。</p> <p>・大きい声でうるさかった。</p> <p>・走るとぶつかった。</p> <p>・歩く方があぶなくな</p> <p>い。</p> <p>・手すりにつかまると倒れない。</p>	<p>・全員が注目できるように、拡大したイラストを用意する。</p> <p>・イラストに注目しやすいように、イラストの顔写真を生徒や教師の写真などにして分かりやすくする。</p> <p>・わかりやすくするために一つ一つのシミュレーションの前に何を行うのか発表したり、一つ一つの場面が注目できるイラストを用意する。</p> <p>・体験をした中で、自分はどうか感じたか考えさせることで、自分だったらどうするか気付かせるようにする。</p> <p>・前で発表することが恥ずかしい生徒に表情カードを用意する。</p> <p>・生徒が「特に感じない。」「わからない。」などの発言があったときには、周囲の教師や友達に意見を求め、正しいマナーを聞いたり、教えたりする。</p> <p>・適切な声の大きさを、声のものさしカードを使い、教師が手本を示すようにする。</p> <p>・書くことが難しい生徒には、表情カードを用意する。複数の表情カードを用意しておき、振り返りながら貼るようにする。</p>

終末 (5)	○本時の振り返りをする。 ・今日の学習で学んだことを写真や資料で振り返る。	・走るとあぶないから気をつける。 ・さっきやったことだ。	・校外学習で電車に乗るときのマナーを話し、車内のマナーを守ることが他者への思いやりにつながることに気付かせるようにする。
-----------	--	---------------------------------	--

(5) 他の教育活動との関連

本校の道徳科の授業は一つ一つの題材を1時間の授業で展開している。毎回の道徳の授業と学校生活や各教科と関連づけながら行っている。今回の授業は生活単元学習の単元につながる形の授業として行っていく。

2 事後検討会

(1) 授業記録（一部抜粋）

T：(電車の写真をテレビに映して) 電車乗ったことある人？

S：ある。

T：11月20日に校外学習に向けて、電車のマナーについて学習します。

(車内の写真をテレビに映して) 椅子に座ったことある？

S：ある。ない。

T：(ホワイトボードに車内の拡大写真を掲示。その上に生徒の顔写真カードを貼り、車内の様子を連想させる)

S：東葉高速？(生徒の顔写真カードを指さして) SさんとRくん。

T：(場面1 大きな声で会話をしている様子を、生徒と教師の顔写真カードを使ってホワイトボードに掲示。)

何で困った顔をしているのかな？

S：嫌な気持ち。

T：では、実際にやってみましょう。誰かやってくれる人。Kくん座って。

(ベンチと手すりを実際に設置し、MTとSTによるロールプレイ。電車の音や車内アナウンスを流し、電車内を再現。生徒の隣で大きな声でしゃべる)

S：(体験の生徒はうるさそうに耳をふさぐ)

T：今、どんな気持ちだった？

S：(体験した生徒) うるさかった。

T：そうだね。ありがとうございました。(声のものさしカードを掲示して) 二人のときは、小さな声で話すんだね。もう一度話す練習をしてみましょう。(他の生徒を一人指名し、ロールプレイ)

S：(体験の生徒はニコニコと座っている)

T：どうでしたか？声、大きかったですか？

S：(体験した生徒) ない。

T：さっきとは違い、嫌な顔をしなかったね。意識してできると、嫌な顔をしないで電車に乗れるね。

(場面2 車内を走っている様子を、生徒と教師の顔写真カードを使ってホワイトボードに掲示) どんな気持ちだったのでしょうか？実際にロールプレイをしてみましょう。

(MTとSTによるロールプレイ。MTが走ってSTにぶつかる) 何で当たったの？

S：痛かった。

T：そうだね。走ると危ないですね。どうすればいいですか？

S：歩く。

T：歩けばぶつからないよね。もう一度ロールプレイをしてみます。

(MTとSTによるロールプレイ。歩いてすれ違う)

T：歩くようにすると人にぶつからないかもしれないね。

(生徒と一緒にロールプレイ)

どうですか。ぶつかりそうでしたか？

S：ぶつからないです。大丈夫。

今まで、4つの場面を学習してきましたね。これから、校外学習に向けて、4つの場面を整理したマナーカードを作ります。机を動かしてください。

(席を学習隊形にする)

T：車内で、気を付けなければいけないカードを1枚ずつ配ります。(マナーカードの配布)

S：(配られた4枚のマナーカードを一枚ずつ見ている)

T：1枚目は、声。どんな声が良いのか話しましたよね。2人のときはどんな声ですか？

S：小さな声。

T：はい、そうですね。シールにポイントを書いて、マナーカードに貼ってください。

(場面1のマナーカード作成、MTとSTによる机間指導)

2枚目は、走る。嫌な気持ちにならないためにはどうすれば良いですか？

S：歩く。

T：歩けば、迷惑が掛からないですよ。シールにポイントを書いて、マナーカードに貼りましょう。

(場面2のマナーカード作成、MTとSTによる机間指導)

これを校外学習までにまとめて、次回の授業に活かしましょう。では今から、VTRを使って授業を振り返ります。

(今日の授業の様子を撮影した映像を流す) 少しずつ振り返りたいと思います。

(場面1を流す) 最初に何をやりましたか？K君がうるさいって言っていましたよね。

S：小さい声。

T：2人で話すときは、「小さい声！」で話してね。

(場面2を流す) ぶつかっていますね。

S：痛そう。

T：ぶつからないためにはどうすればいいですか？

S：(教室内を歩く) ごつつんしない。M先生かわいそう。転んでる。

T：そうですね。歩く！では、揺れる恐れがあるというアナウンスがあったときはどうすればいいですか？

S：手すり。

T：そうです。手すりにつかまりましょう。

(場面3を流す)

そして、最後に(妊婦に席を譲るマナーカードを確認しながら)妊婦さんがいたら、席を譲りましょう。このマナーカードは自分たちで保管して持っていてください。今回の授業で学んだことを11月20日の校外学習に活かしていきましょう。

(2) 授業の感想

(生徒の感想)

- ・(マナーカードを持ちながら)ぶつかる危険から「歩きます」「小さい声で話します」気をつけます。

(保護者の感想)

- ・テレビの画像や音声も本物なので分かりやすかった。実際に先生と一緒に生徒も実演したので、学習と練習ができて良かった。
- ・マナーの再現にモニターもあり臨場感溢れる練習であった。
- ・電車内の再現の映像や音に夢中になっている生徒もいたので、全員が練習できるようにすると良かった。
- ・今後もいろいろなマナーや約束などやってほしい。(人の手を出さない、人を押さない。等)

(参観者の感想)

- ・生徒のイラスト(写真)を利用したことで興味を持って取り組むことができた。
- ・電車という生徒が好きそうな題材を取りあげたのは良かった。
- ・体験する生徒とそれを見て学ぶ生徒がいて、全員が授業に参加していた。
- ・校外学習につなげての学習だったので、終点が分かりやすかった。
- ・視覚的に実際の電車の画像やアナウンスされた音声など、環境設定されていてイメージしやすい。
- ・相手の気持ちが分かるようにシミュレーションをして実践していた。
- ・良い、悪い、考えるときに、表情に着目するよう言葉掛けしていたことが良かった。
- ・自分が感じたことの振り返りで、マナーカードを作ることは良かった。又実態に応じて表情版や文字版が用意されていたのは良かった。今後マナーカードの表記の仕方は改善も必要かと思う。
- ・実際に教師が実演して表情、動作が分かりやすく教師に注目して活動していた。
- ・1時間の授業で終わるのでは無く、回数を重ねて繰り返し学習しても良いと思う。
- ・その日の取ったビデオで振り返りを行っていたので、生徒の理解につながっていた。

3 本事例の活用に関する留意点

(1) 授業展開について

○導入

- ・11月20日にある校外学習という行事や日常良く目にする電車と絡ませた題材ということもあり、生徒自身の興味・関心を高めた。

○展開

- ・車内の写真や自分と重ねた登場人物などの視覚的な教材や車内アナウンスなどの聴覚的な教材を使用することで、より電車内のイメージできるように工夫した。
- ・場面ごとに生徒が体験することで、実際の場面で出会ったときに自分だったらどうするという考えを持ち行動できると考えた。
- ・前に出て自分の気持ちを声に出して発表することが難しい生徒には表情カードや言葉カードを選ぶことで自分の気持ちを表現することができた。
- ・学んだことの振り返りとして、マナーカードを作成したことで、道徳の授業以外でも確認したり、当日使用したりすることができると考えた。
- ・T1との役割分担を綿密(動画撮影や車内アナウンスなどの音出し)に行っておくと授業がスムーズに進めることができた。

○終末

- ・展開の様子を動画や写真で撮り、振り返ることで、自分達が何をしたのかが確認することができるよう工夫した。

○事後

- ・道徳の時間で学んだことを学校生活全体で定着を図りため、道徳の時間を単元の最初に設定した。